

体育

ソフトボール（遠くに投げてみよう）

竹園東小学校5年1組

授業者 柳下 勝（T1） 吉崎 敦子（T2）

本時の目標

よりよいフォームを映像で確認し、自分の投球フォームに生かして技能の向上を目指すことができる。

■ 単元の目標

- ゲームを安全に楽しみ、勝敗に対して正しい態度をとることができる。
- ゲームの進め方やマナーを知り、作戦を考えることができる。
- ソフトボールの基本的な技能を身につけることができる。

■ I C T活用の視点

○ 確かな学力をはぐくむために

筑波大との連携を図り、段階的な投力向上のための技術指導を行ってきた。全身の動きをいろいろな角度から撮影し、スティックピクチャー画像にして、自分の投球ホームを見てよりよい動きを考えるなど、問題解決能力を高める。

○ 学び合い高め合える意見交流活動をするために

ハイスピードカメラを使って撮影した自分や友だちの投球ホームをスローやコマ送りにして、グループごとに意見交流活動を行い、お互いに投球フォームをよりよくする。

■ 本時の授業の概要

昨年度の体力テストボール投げの結果が、ほとんどの学年で県平均を下回った。そこで投力の向上を図ろうと筑波大学と協力して段階的に指導を行ってきた。5月に撮影した投球ホームをスティックピクチャー画像にしたものを見て、大学院生に解説してもらしながら、児童自身によりよいフォームについて考える場をもって気づかせたい。それをもとにグループごとに練習をし、各自の投球フォームをハイスピードカメラで撮影する。その後自分のフォームを映像で確認し、グループごとに意見を出し合いながらさらに修正を加えてボールを投げる技能の向上を図る。

投げる動作の向上から、本時後に展開されるソフトボールのゲームを楽しむことができるようとする。

学習活動	指導上の留意点
1.整列・あいさつをし、学習のねらいや道すじを理解する。	投げる動作を、向上させることをねらいとすることを確認する。 よりよいフォームを考えて、遠くに投げてみよう。
2.準備運動をする。	
3.スティックピクチャーの映像を観て、よりよいフォームを考え話し合う。（筑波大との連携）	5月に撮影したスティックピクチャーの映像を見て、大学院生の説明をよく聞きながら、遠くに投げられるフォームを考えるようにする（T1）。 ペンタブレット、電子黒板を有効に活用し、ポイントが分かるようにする。
4.グループごとに壁に向かって上手に投げられるように工夫をしてボールを投げる。	画像を見て話し合ったことを生かして、工夫して投げるよう助言しながら、各グループに対して助言する。（T1・T2）
5.ハイスピードカメラでフォームを撮影して自分のグループの映像を確認しながら、上手に投げられているか話し合う。	電子黒板、ハイスピードカメラを用意しておき、自分のフォームの撮影や画像の確認ができるようになる。
6.映像で確認した反省点を生かして壁に向かってボールを投げる。	◎自分の投球フォームの改善点を考えて投げるように工夫しているか。（T1・T2）
7.本時の反省を話し合い、次時の予定を聞く。	上手に投げられたかどうかの話し合いをさせ、次の活動に生かせるようにする。